

Title	序
Sub Title	
Author	今宮, 新(Imamiya, Shin)
Publisher	三田史学会
Publication year	1963
Jtitle	史学 Vol.36, No.2/3 (1963. 9) ,p.1- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	松本芳夫先生古稀記念
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19630900-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序

慶応義塾大学教授文学博士松本芳夫先生は、今秋を以て目出度く古稀を迎えられることゝなつた。

博士は明治二十六年和歌山県東牟婁郡下里町に生れ、大正八年慶応義塾大学部文学科（史学）を卒業し、昭和三年より二年余欧米に留学して古代学を専攻された。帰国後昭和六年慶応義塾大学文学部助教授となり、主として古代史の講義を担当され、昭和八年には文学部教授に昇進されて、国史科主任教授として、講義、演習を通じ、きびしい中にも温情を以て学生の指導にあたられたのである。

博士はまた大学卒業と同時に、神代史研究を公刊して、学界に認められ、その後続々とすぐれた研究を発表されて、我国の史学界に貢献するところが極めて大であつたのである。特に古代日本人の思想についての研究及び蝦夷アイヌ説或は文化史関係の研究等は、永く学界に残るべき業績であろう。

博士はこのように学界に活躍すると同時に、母校に於いてもまた、枢要なる職務を兼任されたのである。即ち慶応義塾大学通信教育部長として、発足間もない通信教育部の確立に努力され、更に文学部長を兼任し、現在は慶応義塾大学附属研究所斯道文庫の初代文庫長として、同文庫の発展に献身さ

れ、さらに三田史学会長の職に居て、若い学者の養成につとめられているのである。

このたび博士が古稀を迎えられるにあたり、三田史学会は祝賀と謝恩の微意をあらわすために、博士の薫陶に浴し、国史を専攻して慶応義塾に奉職する人々に論文の執筆を依頼し、史学第三十六卷第二・三号を合せて、博士の古稀記念号として発刊することとした。

博士がますます長寿を保たれ、いよいよ学界に活躍されることを、心から祈るものである。

昭和三十八年七月

今 宮 新